

# 第1回 開催報告

（出席者） 職 員：23名  
事 務 局：4名（総合戦略室）  
オブザーバー：1名（藤井市長）  
ファシリテーター：4名（ジャパン総研）

## 1 次第

- 18：30 ～ 開会あいさつ、趣旨説明  
藤井市長あいさつ
- 18：40 グループワーク  
『未来の美濃加茂市を想像してみよう』  
自由な発想で美濃加茂市の45年後の「ありたい姿」について意見交換する。
- 19：40 各グループの成果発表
- 20：00 閉会あいさつ、事務連絡

## 2 開催結果

### （1）グループワークの発表

#### 【Aグループ（20歳代、30歳代女性職員グループ）】

Aグループでは、若者や子ども、高齢者といった「ひと」を中心に据えて世代ごとに整理した。

まず1つ目に「若者」である。若い世代が増え、そしてその世代が楽しく過ごせる環境が必要ではないか。それには主にワーク・ライフ・バランスの視点が必要である。出産・子育てがしやすいまち、そして意見に「お父さんが参観日に来るのが当たり前」と出ているように、女性に限らず男性もワーク・ライフ・バランスがとれているまちにしていきたい。

2つ目に「子ども」である。子どもが安全に遊べる、自然で遊べるなど、ゲームで遊ぶ必要がなく、自分たちで遊べるようなまちになってほしい。そういった環境にするためには、自然環境を守ることにつながっていく。緑や川を大切にしていって、そんな美濃加茂市にしていきたい。

3つ目に「高齢者」である。ただの高齢者ではなく、元気な高齢者が増えてほしいという思いが私たちに共通していた。高齢者が活躍できること、そして元気な高齢者になってもらうためにも車に頼らないまちになってほしい。

最後に、美濃加茂市全体が盛り上がっていくための視点として「観光資源」という区分をつくった。ライン下りや宿場町、木曽川沿いのウォーキングイベントの活性化などについて意見が出た。



### 【Bグループ (20代男性職員グループ)】

45年後は、東海の中心が名古屋市ではなく、美濃加茂市になっていると考えた。ITなども発達し、在宅で仕事ができるようになってくるのではないかな。

また、駅前再開発で人を呼んだり、ライブハウスや、飲める場所をつくって発展させることで、お金をどんどん美濃加茂市に落とすとしていってもらいたい。

さらに、治安の面や財政面を安定させることで、「住み良さランキング」の1位を狙うという意見も出た。

その他、職員が市民からもあこがられる存在になること、市民自らが活動することで消防団員をゼロにすること、ファッションなどのおしゃれにお金を使うことによって、自由な雰囲気のまちにすることなどの理想についての意見が出た。



### 【Cグループ (30代男性職員グループ)】



Cグループは、「暮らしをもう一度作り直そう」という方向性でまとまった。暮らしを見直す場合に、子育て、健康、自然、買物、地域など、いろいろな要素がある。その中でも、「地域で地域のことをできるようにする」「自分たちで自分たちのことをできるようにする」ことを実現するための大きなポイントは、「仕事は5時まで」ということである。子育てをしたり、地域の祭りの準備をしたり…そうすることでいろいろな暮らしが取り戻せるのではないかな。

都会で働いている人は、仕事と寝ることが1日の大半だろうと思う。寝ることも大事なのだが、仕事と寝ることで終わってしまう暮らしではないものを美濃加茂市で実現したい。そうするために、例えばご近所で物々交換をする、田畑を大事にする、家の鍵をかけない、コンビニやスーパーの長時間営業を廃止するなどして、お隣さん同士のお醤油の貸し借りを復活させることなどを提案している。

5時に仕事を終えて、まちに食事に出れば、お金も使うようになる。その点についてはメンバーから、美濃加茂市に美味しい飲食店、ラーメン店が少ないという意見も出ていたが、市民が外食をするようになれば、おいしい店も増えてくるのではないかな。

45年後を考えたが、Cグループとしては「昭和初期くらいの暮らしに戻ろう」という意見でまとまった。

### 【Dグループ (40代、50代職員グループ)】

世の中は高齢者が増えて介護の負担も増えてくる。それをどうするか考えた時に、美濃加茂市に「じっちゃん、ばっちゃん村」をつくることを考えた。これは姥捨て山ではなく、もっとポジティブなものである。みんなで共同生活を送り、子どもとの交流などもあり、自分たちの村で元気に暮らしていく。ベイマックスのような、介護もできるロボットをつくり、それを開発するための研究機関もあわせてつくる。さ



らに、そこで子どもや孫たちが、祖父母の入る墓をデザインしてつくる。それを先進事例として全国にPRしていく。

もう1つ、「市民協働」ということがある。高齢者が指導し、子どもも大人もみんな協働で田畑をつくる。すべての暮らしができるまち美濃加茂市としていきたい。



高齢者に元気でいてほしい、そして自分たちも元気でいたい、と考えた時に、高齢者が動ける場所をつくってもらいたいと思った。

災害などがあっても「美濃加茂市にいれば食うに困らない」という場所になったらいいと思う。そうなるためには、今荒れている山や田畑をきれいにしなければならない。高齢者に元気でいてもらい、環境をきれいにしてもらおう。きれいな山川には子どもたちが自然と集まってくる。子ども

が増えてくれば学校が必要になる。学校があれば、イケメンベイマックスができるかもしれない。美濃加茂市で介護ロボットをつくることができれば、美濃加茂市の高齢者も気兼ねなく過ごせる。

さらに、景色をきれいにして人を呼びたいとも思っている。景色をきれいにした後、美濃加茂市役所を30階建てくらいにして、南側は川が、北側は山が、それぞれ見ることができる展望台をつくって集客する。美濃加茂市に住みたい人も増えるのではないかな。

また、墓についても、今は明るいものではないが、自分の子どもや孫がきれいでかわいいものをつくってくれるといいのではないかなと思った。

「美濃加茂市は冒険しているな」と思ってもらえるような45年後になるといいと思う。



## (2) グループワークの結果

【Aグループ (20 歳代、30 歳代女性職員グループ)】

### 若者

- ・若者 10~30 代の数が増加
- ・若者が美濃加茂に住み続けたいと思うまち
- ・夜でも若い人が遊ぶところがあるまち

### 子ども

- ・子どもたちが安全に外で遊べる
- ・ゲーム (スマホ) で子どもをあやす必要のない、子どもと向き合える時間があるママ、パパ
- ・自然が好きな子ども
- ・川原で遊ぶのが好き
- ・子どもがどこでも遊べる

### 高齢者

- ・健康で長生き
- ・お年寄りが元気
- ・元気なお年寄りが活躍できる

### 交通手段

- ・車以外の交通手段がいっぱい。自転車とか
- ・みんなが歩く
- ・車が少ない (普段の移動を公共交通機関で!)

### 自然環境

- ・美濃加茂の食べ物が人気であってほしい
- ・食卓にあるご飯は全部美濃加茂産
- ・川をきれいに、大切に
- ・緑がたくさんある

### 観光資源

- ・日本ライン川下りが違うかたちで復活
- ・美濃太田駅が観光客でにぎやか
- ・木曽川堤防沿いがランニングとかウォーキングの人気スポット
- ・太田の宿場町が岐阜一の観光地になる
- ・太田本町とか商店街に若い人が移住している

### ワーク・ライフ・バランス

- ・ワーク&ライフバランスができる
- ・働く環境見直し?在宅ワークとか
- ・出産する気持ちになれる環境づくり
- ・子どもを育てやすい環境づくり
- ・お父さんが参観日に来るのがあたりまえ (普通)

### <その他>

- ・「やりたいこと」を自分で叶えようとする市民
- ・収納率UP!!
- ・隣近所と顔見知り
- ・外国人が多いことがプラスに



【Bグループ (20代男性職員グループ)】

**美濃加茂市全体**

- ・45年後、東海の中心は名古屋ではなくなっている→美濃加茂市へ

**45年後の社会情勢**

- ・コロニー都市として宇宙へ
- ・70歳まで仕事している
- ・電脳化、意識共有

**<全体>**

- ・美濃加茂市の独立
- ・治安が良い
- ・住み良さランキング1位をひたすら狙う
- ・大きくて便利な老人施設あり。(活気のある老人ばかり) →ずっと住む
- ・長生きしまくり
- ・孫とおじい、おばあが近い

**<経済状況>**

- ・財政豊かに
- ・みんなお金もち
- ・職員給料を増額
- ・市民から職員があこがれる
- ・子育てが仕事に
- ・子育てしやすい
- ・子育て費用0円
- ・エンゲル係数UP (農業確立)

**<昼の姿>**

- ・駅前再開発による南口の発展
- ・古着屋さんで有名なまちになる
- ・行ってみたい観光地ランキング上位
- ・スイーツのまち
- ・美濃加茂に地底都市、美濃加茂市
- ・国立記念公園できる

**<夜の姿>**

- ・大きなライブハウス
- ・美濃加茂にクラブ!
- ・夜のまち、発展
- ・飲める場所がたくさん

**<その他>**

- ・市の職員0
- ・公共施設はすべてPFIへ!
- ・一人一台ipad!
- ・新庁舎へ
- ・図書館の充実 (ex. ニューヨーク)
- ・犬猫殺処分0
- ・消防団0人 (消火活動が市民全員ができれば必要ない)
- ・自由な表現のできるまち (おしゃれ)
- ・ひげ、ロン毛OKの職員いっぱい (茶髪も)
- ・10代、20代によるまちづくりが活発
- ・子ども (学生) アクティブに活動
- ・ドラえもんの開発
- ・道が全部自動になっている
- ・持車率10% (公共交通、事故)
- ・名古屋、東京、大阪への直通交通
- ・自宅で仕事 (IT利用)
- ・ITの中心
- ・英語は標準語
- ・外国人と飲める場所いっぱい
- ・女性が活躍しやすい
- ・女性がみんなかわいい
- ・イキイキとしている



## 【Cグループ (30代男性職員グループ)】

### 美濃加茂市全体

- ・美しい美濃加茂市
- ・昭和の終わりごろの美濃加茂市 (子どものころの美濃加茂)
- ・家族

### 45年後の社会情勢

- ・低密度で維持されている
- ・想像ができない程、社会のシステムや技術の進化がおこっている
- ・特色ある学校 (統合されているだろう)
- ・1人1台、タブレットICTを活用した授業

### スローライフ

- 【ひと】・おじいさんが孫世代とにこにこして過ごしている
- ・3世代くらいが同一敷地内で暮らしている

- 【まち】・地域のことは、地域でちゃんと決めていける
- ・物々交換が行われている

- ・近所にいる人を周りが気にしている
- ・外出時に家に鍵をかけない
- ・隣近所のふれあいがあるやさしいまち
- ・薪で生活している人が半分くらいいる
- ・そこまでお金がなくても、笑って生活している

### 子ども

- ・子を持つ世代となったが、数多くの、昔の思い出を語ることでできる人 (様々な経験ができる)
- ・外で遊ぶ子どもがたくさんいる

### 健康

- ・外で運動している人が多い
- ・みんなが健康な美濃加茂

### 自然とくらし

- ・人がきちんと手入れをする森、公園
- ・自然と触れ合える場所が身近にあふれているまち
- ・まちが発展してもちょっと足を延ばせば、昔ながらの田舎の風景に出会えること
- ・森林、川、公園が市民の手で管理されていて、美しい美濃加茂
- ・休耕田や休耕畑が無くなっている (使われている)
- ・住宅地と農地などが棲み分けされている

### Welcome

- ・外国籍の方々との共生 (適応指導教室)
- ・来た人みんなを受け入れるようなあたたかいまち
- ・住んでいる人や訪れる人が家族のように接する

### 生活スタイル

- ・仕事は5時まで
- ・夜は寝る
- ・市役所は事務仕事しかしない

### 公共施設

- ・公共施設に人がいっぱい集まる (新しいものをつくるばかりでなく)
- ・老人福祉施設。小さな建物ではなく大きな建物
- ・手入れをして長く使用できる公共施設
- ・市営住宅を美しいものに
- ・総合運動場  
(陸上、サッカー、野球、テニス etc)

### <その他 (にぎわい)>

- ・おいしいお店がたくさんある
- ・商店街に人がたくさんいる
- ・まちを歩く人がたくさんいる



## 【Dグループ（40代、50代職員グループ）】

### 美濃加茂市全体

- ・美濃加茂市の山がきれいになって、みんな歩きに来ている
- ・美濃加茂市は、山キレイ、川キレイ、まちキレイ→みんなキレイに整備されている。車は地下を走っている　・美濃加茂の北部では、里山も活かした暮らしがなされている
- ・緑と住宅が共生している　・一戸建てにすべて庭が付き、自然の中に家がある
- ・アスファルトがまちなく、芝生と森の中で暮らせるまち　・共同野菜田畑のあるまち
- ・福祉の充実　・老人がガンバルまち
- ・人口減少がない

### 45年後の社会情勢

- ・社会全体も年寄りが、元気でいてほしい　・食料自給率が低くて困っている
- ・少子高齢化が一段落し、自然増の人口形態

### ひとの姿

- ・子どもが山を走りまわっている→オリンピック選手が出る　・子どもがいきいきと暮らせるまち
- ・休日は土いじりしながら、平日は会社勤務　・みんな百姓をやっている
- ・**高齢者がイキイキと活躍している！**
- ・おじいちゃん、おばあちゃんがみんな地域の子どもをみている場所がある。みんな来る
- ・老人が元気にまちを歩いている。公共交通を使っている
- ・45歳までのすべての人が英語で話せている　・日系3世、4世がともに暮らせるまち
- ・ポルトガル語が理解できる
- ・女性が強い。(自立している)

### まちの姿

- ・駅南をリトルブラジルに！フィリピンに！→中山道の風景のギャップ
- ・夜の美濃加茂、復活。賑わいの創出
- ・エコなまち（エネルギーの自給自足）　・自然エネルギーで市の電力がカバーできている
- ・市民共同田畑がたくさんある（肉はシカ）
- ・**【ポジティブ隔離】**・じっちゃん、ぼっちゃん村ができている　・デザイン墓（子どもがデザイン）の見学
- ・東京大学の美濃加茂キャンパスができている　・大学誘致。総合大学。若者が元気なまちを
- ・小中一貫教育で、特新制度により高校をとばして大学へ進学する。子どもが年間100人のまち
- ・ベイマックスがたくさんいる　・イケメンの介護ロボット←年をとってもトキメキ大事

### その他

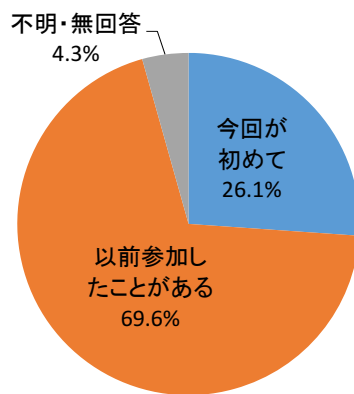
- ・プロ野球、サッカーチームができる、FC岐阜→美濃加茂に
- ・30階建ての市役所が建設されている　・みんなが見に来る展望台、市役所庁舎が30F建てになっている。南は川の眺め、北はきれいな山の眺め
- ・地域の絆が見直され、隣近所との心の壁がなくなる　・住民が市政に参加できる
- ・自治コミュニティは、3世代以上が常識　・地域活動が地域通貨でまわる。物々交換の延長
- ・地域活動が活発に行われる

### 全ての暮らしができるまちMINOKAMO

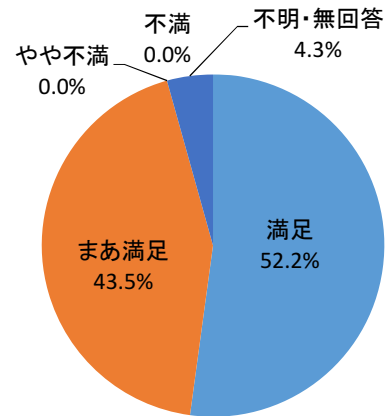
- ・夜でも安全に走れるように、市内がランニングコース　・大型ショッピングモールがある
- ・安心して歩ける。道が張り巡らされている　・歩道（自転車道）が広い
- ・生活圏がコンパクトなまち　・空家の有効活用されるまち　・都市部との連携が取れるまち
- ・移動の容易なまち

### 3 参加者の意見・感想

【ワークショップの参加経験はありますか】



【本日のワークショップはいかがでしたか】



#### 【具体的な感想など】

- ・自由に意見が飛び交い、楽しかった。
- ・まとめるのが難しいけど、意見の交換が活発にできておもしろかった。
- ・おもしろかった。人生の先輩はすごかった。
- ・改めて自分が美濃加茂市の未来について考える良い機会になった。他のグループのユニークな意見も聞くことができて楽しかった。
- ・年齢を超えて、多くの意見を聞くことができて良かった。
- ・自由意見は各位が出されていたと思うが、その方向性を定め、矛盾のない発表へと 100%繋がらなかったのが残念。
- ・K J法の意見をグループ化したい。発表の意見をうまくまとめられなかったので、次回の課題としたい。
- ・初の顔合わせでのワークショップであったが、お互いの意見や思いを言うことができた。次回はひとつ軸を見つけられればと思う。
- ・20代で自由に意見を出し合うことで、各々の考え方を知ることができた。
- ・久しぶりに自由に考えることができた。実現可能かと思うものが多かったが、こういうことの繰り返しが将来の美濃加茂市に繋がると思う。
- ・世代ごとに分けられていたことで、方向性が定まり、満足するワークショップになった。同じような思いを持った人がいることがわかり嬉しかった。
- ・グループごとに意見がちゃんと違っていったことに驚いた。
- ・普段なかなかすることのない分野の意見交換ができた。
- ・世代の異なる人たちの意見が参考になる。自分たちの世代のみの考え方で将来を決めるのは危険がある。学生の意見も参考にしたい。
- ・具体的なキーワードを記入する必要がある。
- ・こうやって人が集まって共通の話題で話し合えることで、人の繋がりが生まれる。美濃加茂市が人の繋がりを一番考えれば、45年後も幸せでいられる。
- ・まとまらない→テーマがアバウト過ぎるような気もする。



- ・若手の思い、やるじゃん！ということがわかって安心した。
- ・グループ内での意見がそれぞれ出た点が良かった。
- ・話し合いをする中で、どんどん広がっていき、面白い意見が出た。
- ・改めて、今の美濃加茂市と将来の美濃加茂市について考えることができた。
- ・もう少しまとめがきれいだと思った。でも、とても楽しいワークショップだった。

### **【本日のテーマについて、言い足りなかったことや、追加意見】**

- ・外国の方が多いの、美濃加茂市の特性だと思うので、マイナスでなくプラスに生かせるようなまちになれたらと思った。
- ・今日は、カテゴライズしたものがどうつながるのかまで考えられなかったので、次は繋がりを自分が意識していけると良い。
- ・コンパクトシティ→公共交通、PFIなど既存の考えから脱することができなかった。自分の思っていること以外についてもっと他から聞きたい。
- ・今日の意見をもとに、さらに具体的に掘り下げて考えていきたいと思う。まちづくりについて、さらに考えを深める必要があると思う。
- ・もっと若手の人数を増やして意見が出れば良いと思う。
- ・仕事以外の時間をたくさんつくるためにも、IT等を発展させた都市にしたい。
- ・地域を愛せなければ、本当に住み続けてくれるIターン、Uターン者はいないと思う。そのためにはまず、市民がこのまちのことを好きになるということに全力を注ぎたいと思う。
- ・みんなが日常の中で幸せだと思えたらいいと思う。
- ・スローライフと逆を考え方の人も存在するという点も現実的に少し考えたい。格差社会になる危険性もあるのか。
- ・美しい美濃加茂市であってほしい。税金を投入して、森林、川、公園を管理するのではなく、市民の手で美しい美濃加茂市をつくる仕組みづくりをしていきたい。
- ・45年後の自分の暮らし、市の様子について真剣に考えたことがなかったので、すごく新鮮で楽しかったし、現実として45年後はぎりぎり生きていると思うので、それくらい先を見ることは大切だと感じた。
- ・描象論からこの先どうエッジを立てていくのか、国は具体的数値目標を求めているので、ジャパン総研さんに期待する。
- ・各世代にいろいろな考え方があり、千差万別であることがよくわかった。今後の美濃加茂市の姿を考えるにあたっては、小学生、中学生、高校生等の実際にその時代に活躍している世代の意見も聴く機会があると良いと思う。
- ・世代間交流。三世代。
- ・高齢者のチームだったので、若い発想ができなかったが「子育てしやすい市」にしたい。
- ・「災害に強いまち」になるように、自給自足のまちにしたい。

### **【総合戦略全般についての意見】**

- ・もっと交流したいと思った。
- ・45年後のこうありたい美濃加茂市について、漠然としているが、いろいろと考えていきたいと思う
- ・次回も楽しみにしている。

- ・美濃加茂市役所職員から暮らしのある生活を実践していこう。次回も宜しく願いしたい。
- ・それぞれの意見のいいところを組み合わせ、相乗効果の大きなものができたら良いと思う。
- ・他市とは異なる特色のあるものにしてほしい。実現が困難と思われる戦略についてもチャレンジしていきたい。
- ・ワークショップを進めながらではあるが、全体の流れや次回の内容がわかると良い。
- ・職員がテーマを持って研修に参加したり、他支町村への視察ができる仕組みがあると良い。
- ・人口の増減はもちろん、外国人の動向、企業の動向など、多くのデータがあるとイメージしやすいと思う。
- ・御苦労さま。宜しく願いしたい。
- ・市長が冒頭に話されたように、総合計画など他の計画との違いを、どうわかりやすく説明できるかが難しいと思う。自分も勉強していく。
- ・ワークショップも世代交流。
- ・もっと多くの職員とワークショップや意見交換ができると良いと思う。
- ・どこにもない美濃加茂市、独自の戦略をつくりたい。